

職場で話題 「定年延長 どうなるの？」

政府が国家公務員の定年を65歳に段階的に延長する方向で検討に入り、早ければ来年の国会に法改正を提出し、19年度からの施行をめざすと報じられたことが職場で関心を集めています。職場からは「定年延長しても、年金支給をさらに70歳まで引き上げるのではないか」「国がやっても道は財政難を理由に実施しないのではないか」との不安の声があがっています。報告も寄せられています。どう考えればよいのでしょうか？

この問題を考えるにあたって、この



道高教組札幌支部
(札幌市中央区大通西12丁目
北海道高等学校教職員センター
3階)
TEL 011-271-5875
FAX 011-271-5895

「雇用と年金の接続」は当然のこと 不利益のない制度に向けて運動が必要

本質が「雇用と年金の接続」にあることをまず見なければなりません。年金の支給開始が段階的に65歳まで引き上げられていることで、国が「希望すれば必ず再任用する」と「雇用と年金の接続」を約束しながらも、北海道の教職員では二割が辞退を強いられ、生活不安が広がっています。現段階では、定年延長後の給与体系がどうなるかや、退職金をどうするかなど、今後検討するとされている問題が多数ありますが、政府が19年度の実施に向けて検討に入っていることは、民間には定年延長を要請しながら、公務員は再任用でこまかしてきた政策の破綻を示すものです。私たちは再任用制度導入の当初から定年延長による「雇用と年金の接続」の保障を求めてきました。

定年延長と同時に年金支給開始年齢をさらに引き上げたり、定年延長を実施しなければ「雇用と年金の接続」にさらに深刻な問題を生じさせることとなります。

年金が支給されるまでは安心して働き、退職後は年金で生活できる制度を構築すること。

今年4月、Y高校での出来事。「再任用ハーフの教諭が、勤務時間以外の時間帯で他校での『時間講師』を行うことが決まっていたが、道教委から「それはできない」と言われ、あてにしていた収入が得られない」事態がありました。この話を聞いた当該分会からの問い合わせもあり支部・本部は、これまで道教委との折衝をしてきたところです。定年は同様の事例が全道の夜間定時制で起こっていることから8月の専門部交渉で質問事項として扱い、道教委からの正式な回答を得ました。その結果、次のようなことが明らかになっています。

(定通部二コースより引用)
「全日制と全日制など勤務時間が重複する場合は認められ

とは、長年高額な保険料を払い続けてきた私たちの当然の要求です。働く者に不利益のない定年延長の制度設計と定年延長が実施されるまでのあいだ、希望するすべての職員の再任用を求める運動がますます重要になります。

「再任用者」の時間講師問題
「兼務発令」申請で可能！

「再任用者」の時間講師問題
「兼務発令」申請で可能！

今年4月、Y高校での出来事。「再任用ハーフの教諭が、勤務時間以外の時間帯で他校での『時間講師』を行うことが決まっていたが、道教委から「それはできない」と言われ、あてにしていた収入が得られない」事態がありました。この話を聞いた当該分会からの問い合わせもあり支部・本部は、これまで道教委との折衝をしてきたところです。定年は同様の事例が全道の夜間定時制で起こっていることから8月の専門部交渉で質問事項として扱い、道教委からの正式な回答を得ました。その結果、次のようなことが明らかになっています。

(定通部二コースより引用)
「全日制と全日制など勤務時間が重複する場合は認められ

この回答は、「同じ課程での『兼務発令』はできない」とする根拠に「特勤手当に関する条例第8条(兼務手当)」を根拠にしているものと考えられます。この条例は、昭和三十一年に制定されたもので、そもそも再任用短時間勤務(ハーフ)という働き方を想定していないものです。

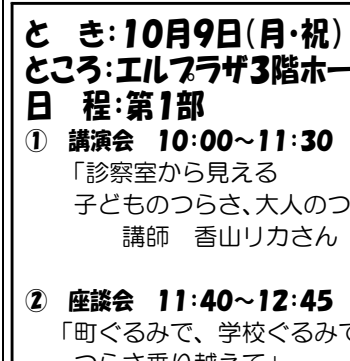
短時間勤務者に対して、平成二十五年「雇用と年金の確実な接続」において総務省などは、「勤務時間以外」での「多様な働き方」「営利企業等への従事」への「適切な配慮」を行うよう通知していることから、「全日ハーフ」+「全日兼務」(あるいは時間講師)等という働き方も可能となる制度改善を早急に行うべきです。

しかし何よりも大切なことは、再任用制度に関しては、矛盾だらけの制度を早急にやめ、年金支給を六十歳からにもどすか、六十五歳までの定年延長を図ることが重要です。現行制度下では、再任用職員の抱える要求のとりまとめと仲間つくりを広げましょう。

10月9日(月)祝さっぽろ子育て・教育市民フェスティバル開催のご案内
午前の部 香山リカさんが講演

◆「さっぽろ子育て・教育市民フェスティバル」は、子どもたちや若者・大人が、健やかに育ち、生き生きと学び、生きがいを持って働ける社会・地域を市民の協同で創りあげたいと、子育て・教育に関わる団体が実行委員会を作って2001年より毎年開催しているイベントです。今年は17回目となります。

◆「笑顔輝く子どもと大人の未来」
中学生が殺された、自殺するという悲しい出来事が続きます。貧困や格差が拡大する社会、過度な競争、最近の憲法的価値が問われる状況など、どう生きるかが大人も問われています。



と き: 10月9日(月・祝)
と ころ: エルフラザ3階ホール
日 程: 第1部
① 講演会 10:00~11:30
「診察室から見える
子どものつらさ、大人のつらさ」
講師 香山リカさん

② 座談会 11:40~12:45
「町ぐるみで、学校ぐるみで
つらさ乗り越えて」
香山リカさん、
北星余市高校のみなさん

第2部 分散交流会 13:30~15:30
午前の部を受けて、いろいろな思いを語り合い、交流します。

*「午後同時開催で
「あそびの広場」
子どもたちに大人気のコーナーですよ。
「葉脈しおり」など工作やレクも

参加費: 1,000円
(組合員は、無料です。また午後のみの方は、無料です)

◆「講演会」「座談会」「分散交流会」を開きます。
今年は、左記チラシの通り、午前の部では「講演会」と「座談会」、午後の部では「分散交流会」を行います。

北星余市のOBや保護者、教員、地域の方に参加していただく座談会です。

午後は、午前の座談会を受けて、北星余市のみなさんにも参加していただいて「分散交流会」を行います。また、子どもたち

「講演会」では、精神科医である香山リカさんをお招きして講演会「診察室から見えない子どものつらさ、大人のつらさ」を行います。

北星余市のOBや保護者、教員、地域の方に参加していただく座談会です。

午後は、午前の座談会を受けて、北星余市のみなさんにも参加していただいて「分散交流会」を行います。また、子どもたち

「親子」が科学実験や工作、からだを使つてのソングゲームなどを楽しむ「あそびの広場」を同時開催します。

盛りだくさんの市民フェスティバルです。

解散総選挙に思う
「あつた」がまた「あつた」

「僕が安倍さんだったら、いたうえ、やっと開いた国会で、国を解散するね。こんな冗談半分、雑談を交わした翌日、「首相、臨時国会冒頭解散を決定」「二ノコースが流れた。「やはり」と「まさか」が交錯した。まさかそこまで露骨に「モリカケ」逃れと政権維持という私的利益を優先させるとは！

最近、かの首相が好んで使い、耳にすることが多くなった「法の支配」という言葉。高校の「政治・経済」などの教科書に必ず登場する「重要語句」で、「専断的支配に対する」モン・ローの優位を意味し」と説明されている。「モン・ロー」とは「普遍的な法」「慣習法」。日本の憲法は「総議員の4分の1以上の要求があれば、内閣は(臨時会)の召集を決定しなければならぬ」(第55条)と定めている。

野党はこの規定にもとづいて臨時国会の召集を要求していた。しかし、それを3ヶ月も放置し

周囲の皆さまをお誘いの上、是非ご参加下さい。秋の一日、たくさんの人々と交流を深めたいながら、次への「つなかりの輪」を拡げていきたいと思います。

解散総選挙に思う
「あつた」がまた「あつた」

「僕が安倍さんだったら、いたうえ、やっと開いた国会で、国を解散するね。こんな冗談半分、雑談を交わした翌日、「首相、臨時国会冒頭解散を決定」「二ノコースが流れた。「やはり」と「まさか」が交錯した。まさかそこまで露骨に「モリカケ」逃れと政権維持という私的利益を優先させるとは！

この回答は、「同じ課程での『兼務発令』はできない」とする根拠に「特勤手当に関する条例第8条(兼務手当)」を根拠にしているものと考えられます。この条例は、昭和三十一年に制定されたもので、そもそも再任用短時間勤務(ハーフ)という働き方を想定していないものです。

短時間勤務者に対して、平成二十五年「雇用と年金の確実な接続」において総務省などは、「勤務時間以外」での「多様な働き方」「営利企業等への従事」への「適切な配慮」を行うよう通知していることから、「全日ハーフ」+「全日兼務」(あるいは時間講師)等という働き方も可能となる制度改善を早急に行うべきです。

しかし何よりも大切なことは、再任用制度に関しては、矛盾だらけの制度を早急にやめ、年金支給を六十歳からにもどすか、六十五歳までの定年延長を図ることが重要です。現行制度下では、再任用職員の抱える要求のとりまとめと仲間つくりを広げましょう。

「僕が安倍さんだったら、いたうえ、やっと開いた国会で、国を解散するね。こんな冗談半分、雑談を交わした翌日、「首相、臨時国会冒頭解散を決定」「二ノコースが流れた。「やはり」と「まさか」が交錯した。まさかそこまで露骨に「モリカケ」逃れと政権維持という私的利益を優先させるとは！

最近、かの首相が好んで使い、耳にすることが多くなった「法の支配」という言葉。高校の「政治・経済」などの教科書に必ず登場する「重要語句」で、「専断的支配に対する」モン・ローの優位を意味し」と説明されている。「モン・ロー」とは「普遍的な法」「慣習法」。日本の憲法は「総議員の4分の1以上の要求があれば、内閣は(臨時会)の召集を決定しなければならぬ」(第55条)と定めている。

野党はこの規定にもとづいて臨時国会の召集を要求していた。しかし、それを3ヶ月も放置し

周囲の皆さまをお誘いの上、是非ご参加下さい。秋の一日、たくさんの人々と交流を深めたいながら、次への「つなかりの輪」を拡げていきたいと思います。

解散総選挙に思う
「あつた」がまた「あつた」

「僕が安倍さんだったら、いたうえ、やっと開いた国会で、国を解散するね。こんな冗談半分、雑談を交わした翌日、「首相、臨時国会冒頭解散を決定」「二ノコースが流れた。「やはり」と「まさか」が交錯した。まさかそこまで露骨に「モリカケ」逃れと政権維持という私的利益を優先させるとは！



札幌支部教研2017開催!

イラク支援ボランティア・エドワーカー高遠菜穂子さん講演

「イラクから見る日本」 暴力の連鎖の中で考える 日本の平和憲法

「高教組札幌支部教研集会2017」は、9月9日に行われ、高遠さんの講演がありました。以下が講演の要旨です。

・自己紹介

2000年マザーテレサの下でのボランティアをきっかけに人道支援の道に。イラク戦争以来14年間イラクにいる。戦争は住民、米兵とも心が壊されてしまふ。日本各地で講演をしているが、10代の子がより戦争を身近に感じている。戦争被害は、幼いほど被害を受けた痕が長く、体と心に恐怖と恨みが蓄積されやすいので心のケアが必要。「点」のような情報しかない「情報鎖国日本」では、「点」と「点」の間を埋めるようにしないと真実がわからない。

・難民、イラク戦争

UNHCRグローバルレンズ2016によると、家を追われた人が6560万人、難民は2250万人、国内避難民は4030万人、庇護申請者は280万人。世界中で113人に1人、シリア1200万人を筆頭にコンゴビア、アフガンと続き、イラクは420万人が家を追わ

れている。難民とは国内避難民が国境を越えた人々。難民も大変だが、国内避難民は支援するべき政府が問題の根源であることが多く、より深刻。

・大義なきイラク戦争

イラク戦争を始める根拠だった「大量破壊兵器保有疑惑」は誤りだったとブッシュ(米)ブレア(英)は認めたが、日本政府はいまだに認めていない。詳細な検証がされていない。世俗主義のフセインと原理主義のアルカイダは反目していたが、アメリカはイラクを9.11を含めたテロ支援国家、悪の枢軸国と決めつけ侵攻した。

・イラク戦争への日本の対応

小泉首相は「日本は常にアメリカとともにある」とし、イラク攻撃を支持した。開発援助をする国々に「対イラク武力行使容認決議案」への賛成を迫るが、拒否された(戦争支持)。

かけ離れた支援の末路。いまやイラクは「テロの最大被害国」になった。「これがアメリカの言う『デモクラシー』なのか?」、米軍が「テロ掃討作戦」を行うほど民間人犠牲者が増加。遺族から反米武装勢力が生まれ、アルカイダが加担。しかしアルカイダも民間人ばかりを殺傷。米軍、地元の抵抗勢力、国際テロ組織「三つ巴の戦い」が現在でも続き、イスラモフオビアの原因。

・ファルージャ総攻撃

2004年のファルージャ総攻撃で多数の民間人死者が出、反米感情が悪化。米軍の交戦規程は「動くものはすべて撃つ」。主力部隊は在日米軍であり、日本国内の問題でもある。白リン弾が使用され酷い火傷を負った人々がいた。IS現役幹部が英ガーディアン紙のインタビューに答え、「イラクの米軍刑務所(アブグレイブなど)がなければISは存在していない」、刑務所内での迫害、情報交流がISを創り出した。ISが処刑の時に着せるオレンジのジャンプスーツはアブグレイブ収容所の制服だった。

・イラクでISが台頭する最大の理由

2012年からイラク政府による「スンニ派狩り」に抗議す

る「金曜テモ」が始まった。対IS攻撃という名に隠れ宗教弾圧が続く限り、イラクのISは(シリアとは違う理由で)絶滅しない。

・日本の支援の行方は

対イラクODAでは、スンニ派や政府に批判的な市民を弾圧するために内務省が使用するパトカーを、日本が支援することに反感が生まれている。

・金曜テモからIS建国宣言に至るまで「情報鎖国日本」

2014年8月ISがヤシテイ教徒、キリスト教徒を虐殺し「米軍待望論」が高まるなか、シンシヤル山脈に取り残されたヤシテイ教徒救出に、2011年から完全撤収していた米軍が空爆を開始。2014年9月に対IS連合が発足し、空爆は現在まで続いている。民間調査による市民の犠牲者は5117人に対し、米軍発表は500人と大きな開きがある。

・私たちは鉄床(かごと)とハンマーの間に置かれている

イラクの国内避難民は2015年に300万人を突破し、ISと米軍、シリア派民兵に翻弄されている。

・ファルージャ総合病院への攻撃

高遠さんが活動したこともある日本のODAで再建したファルージャの母子病院をイラク軍が空爆。モスルでは、立てこ

・戦争モラルの低下

捕虜、容疑者の扱いは、身元確認で拷問や処刑、ISはモンスターだから殺されて当然、など、戦争モラルは低下していか。対テロだからコラテラルダメージ(巻き添え被害)も仕方ないというイメージが国際社会にも広がっていないか。それが民間人犠牲者の増加につながっていないか。

・イラクから見る日本

日本はもともイラクとビジネスパートナーであったので、日本企業(※サダム時代、イラクは先進国でした。鹿島建設や大成建設など、ODAではなくビジネスとして日本企業は進出していたと日本企業のOBの方々から聞いています。)のイメージで好印象であった、その平和国家のイメージはすでに過去形。アメリカの要請でイラクに

来る国(イラクの要請ではない)、人道支援でなく軍を送る国、バグダッドの武器見本市へのトヨタ日産の出席。など、イラクでは「日本人は自分たちをいまだに平和創造者だと信じている」、「平和主義を捨てた」、「平和主義者の戦争」、「武器輸出三原則の緩和」などと日本が批判的に報じられている。

・顔の見える「人道支援先進国」を本気で目指す

日本の「平和ブランド」を取り戻し、国際社会の一員として貢献したい、「命に国境はない」ことを体現したい、「戦争を止める国」に進化したいは:

- ① 情報鎖国を克服する
英語でニュースをチェック、国際ニュースを見る、求める。メディアリテラシーは何年やっても身につかない。
- ② 日本の支援を知る
政府のODA(政府開発援助)、官民共同事業、NGO(非政府組織)の活動をチェック。
- ③ 国際協力の現場で「顔を見せる」のはだれか?
自衛隊任せにせず、非武装の民間人による国際貢献を増やす(特に緊急支援)。

日本のNGOは置いてきぼりケース続出(政府の意向で行動が制限)。
国際協力の現場に行きたい若者を応援する! なんてそんなところ行くの? といった世間の壁をつくらないでほしい。

とても90分の枠に収まらない濃い内容をお話ししていただきました。日本の若者への期待、平和は戦争では創れない、情報鎖国。しかと受け止めました。(桑原岳夫)

支部教研 理科科会

今年も理科科会が盛り上がりました。普通科、定時制、特殊教育、中学校などたくさんの方々が参加しました。ミジンコをヒドラの入った容器に入れると、ヒドラがパクツとミジンコを食べます。何でも、ミジンコは時として増えすぎると全滅するので数の調整のためにヒドラの餌にするんだとか。ミジンコはテレビの上で飼うと長生きするそうです。ペテランの三好先生からは「生

障害児学校科会

「豊かな生活を支える」
「福祉」について考えよう!

講師の福祉保育労働組合北海道地方本部副委員長の中川善征さんは、トークが大変テンポ良く、視的情報作りにも工夫があり、「一気に引きつけられました。また障がいを持った人たちが本人が参加して作られた「骨格提言」が、障がい者総合支援法でないがしろにされていることや、「社会保障は国の責任で有り、国民



徒の琴線に触れ、感動を与えるような作文をよんだりするんだ」などとおっしゃります三好先生。三好先生ほどの授業ネタ、実験ネタをお持ちの先生でも「人格の完成」を目標に努力されている姿に唸りました。そして中学校でのマシユマロチャレンジの報告では一生懸命なその姿に感心。中学校は指導要領にがらみながら、ゆっく

の福祉、生存権の保障こそが目的でそのために政府が組織されていることをわかりやすく説明してくれました。また「我が事・丸ごと、地域共生社会」とは良く聞かせる響きだが、よく話を聞くと「基本的には自分で何とかして! できなかつたら障がい者もお年寄りも、子どもも一緒に集めてみんなで見ていきましょう」と言っていて、そこには、それぞれの特性理解をしている専門職が乏しくなる現状も含まれることにも気がつかされました。そしてオスブレイに費やす税金を社会保障に回すだけで様々な問題が潤う現実に、政府に対して失望を感じ

ずにはいられません。だからこそ、良い制度を守らせる・実践させるためにも労働組合が声にして訴えていく役割があると確認できました。他にも現場の声として進路指導に関わり、地域格差や障がい者の雇用体制などが話題となりました。中川さんは以前に特別支援学校の卒業生の進路先である福祉事業所で働いていた経験があり、障がいを抱えた子どもたちの現状を大変良く理解された上で、卒業生が社会で働く課題などについても適切な助言をいただくことができました。

